

大楠幼稚園について

1 検討の主な経緯

年月	会議等	概要
H27.8.21	教育委員会定例会	「市立幼稚園を H30 年度末で閉園する」旨を決定しました。
H28.5.27	教育委員会定例会	横須賀市長坂埋立地対策協議会（現長坂ごみ処理施設対策協議会）との協定書（S51.12 締結）の存在が明らかになったため、閉園の時期は、「市立幼稚園を取り巻く状況に応じて別途定める」としました。
H28.10.1	横須賀市長坂ごみ処理施設対策協議会	「保護者や地元町内会との協議の経過報告を役員で確認し、必要があれば意見を伝える」という内容を確認しました。
R4.3.4	第 1 回大楠幼稚園関係者連絡会 ※	2 年続けて入園児が定員の半数以下となったこと及び令和 4 年度の入園児数が一桁の見込みとなったことを受けて改めて閉園時期の検討を開始しました。
R4.4.28	第 2 回大楠幼稚園関係者連絡会	令和 4 年度の保護者に閉園時期の検討を説明しました。
R4.5.14	未就園保護者説明会	未就園児（0 歳から 3 歳）の保護者へ閉園時期の検討を説明します。

※大楠幼稚園の保護者、町内会関係者、学校関係者で構成し、大楠幼稚園の閉園時期等について意見交換を行う場として設置。

【参考】

協 定 書（抜粋）

横須賀市長坂字谷戸 3,350 番外 159 筆の土地 204,102 平方メートルを使用して施行する横須賀市清掃事業ごみ埋立地に対し長坂町内会に及ぶ環境を守る立場から昭和 51 年 11 月 22 日付横須賀市長宛提出した「廃棄物処理場設置に関する要求書」に基づき、横須賀市長横山和夫（以下「甲」という。）と横須賀市長坂町内会長（以下「乙」という。）は、次の通りの協定書を締結する。

昭和 51 年 12 月 22 日

甲 横須賀市小川町 11 番地
横須賀市長 横 山 和 夫
乙 横須賀市長坂
長坂町内会長

第 1 条 甲及び乙は長坂町内会の要求書により協議事項となった諸問題を協議するため、「横須賀市長坂埋立地対策協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

→ H24.7 名称変更「長坂ごみ処理施設対策協議会」

協議会の規約は別に定める。

第 2 条 甲は乙の要求書のうち次の事項に対してはその施行を確約する。ただし、工事等細部についてのことは協議事項とする。

1 河川水の汚染に関する件(1)～(4)の事項
(中略)

9 一般事項中 6 道路拡張の件は、次の方針でその実現に向い計画を樹立する。但し、本事業は地元住民の多大の協力を基に進めてゆかねばならないことが多いので要求書の趣旨に添って特段の協力を期待する。

(1) 本線は太田和相武幼稚園入口から谷戸を通過し長坂射撃場に通ずる延長約 2,000 メートルの道路拡幅改修工事とする。

(中略)

(7) 幼稚園（保育園）小学校設置の件は、その必要性は認めるが現在において、設置する土地がないので詳細に約束することは困難である。しかしながらこの地区の都市化による人口の増加都市計画的な整備等一体の要素が確立される時機をもって設置しよう今後検討を進めるものとする。

10 上記協議に関する順序方法及び確認はすべて協議会において決定し前文の定めに従い甲乙誠意をもって実現に努力する。

第 3 条 本協定書に記載されていない事項又は、将来問題となるべき事項が生じたときは、協議会においてきめ決定された事項に対しては、甲及び乙とも誠意をもって実施する。

第 4 条 協定書の締結により乙は、長坂町内会を代表して横須賀市長坂埋立地の事業に同意する。

2 現状

(1) 大楠幼稚園園児数の推移

学年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
4歳児	35	18	24	33	26	35	23	26	27	22	22	22	16	16	9
5歳児	35	35	22	27	34	29	34	24	33	28	24	26	24	16	17
合計	70	53	46	60	60	64	57	50	60	50	46	48	40	32	26

※平成20年度までは定員を満たしていましたが、それ以降、定員割れの状態が続き、令和2年度からは半数を切っている状況です。

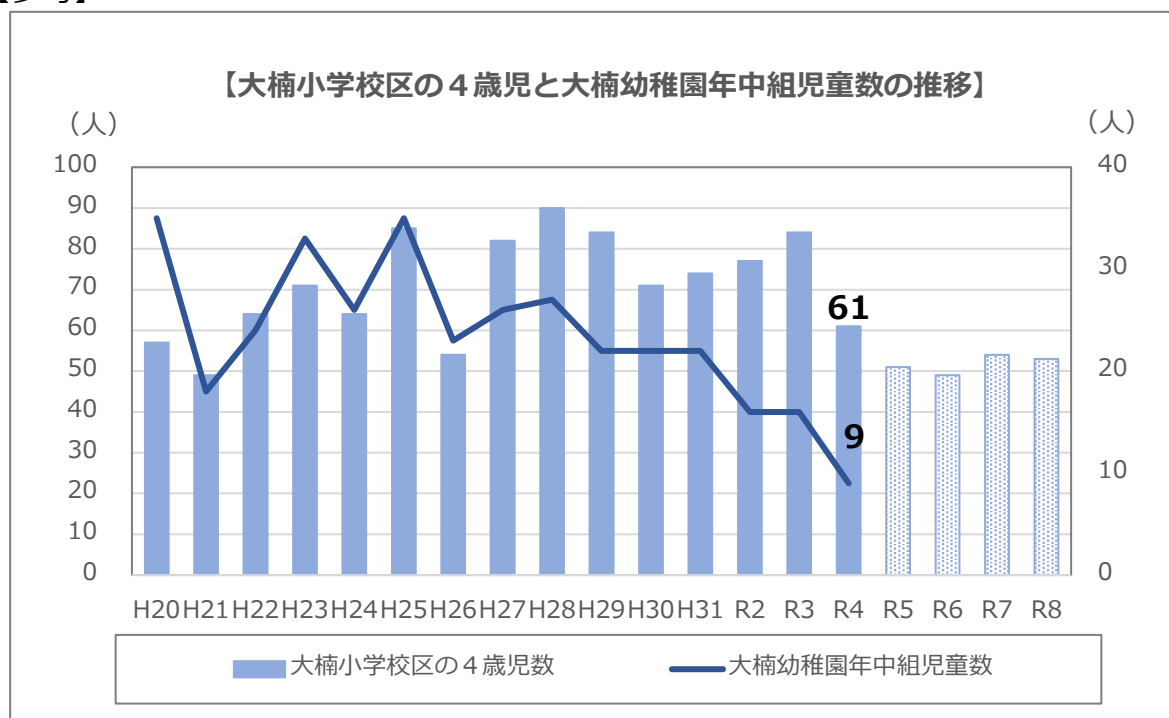
(2) 大楠小学校区の就学前児童（0歳～4歳）数の推移

(各年4月1日現在 住民基本台帳登録人口)

町名	H18	H21	H24	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
佐島	38	40	36	39	38	41	39	40	41	41	31
芦名	103	99	109	103	90	84	78	72	74	75	67
秋谷	105	136	137	146	155	145	128	126	111	104	95
子安	2	1	1	2	4	4	3	2	1	0	0
湘南国際村	20	11	8	9	7	10	11	8	12	15	16
佐島の丘	-	19	55	61	58	70	70	83	86	82	86
合計	268	306	346	360	352	354	329	331	325	317	295

※大楠小学校区の未就学児は、佐島の丘の開発とともに増加傾向にありましたが、現在は減少傾向となっています。

【参考】



3 閉園の理由

(1) 市立幼稚園の役割を果たしたこと

①私立幼稚園の補完的役割

少子化の進展と、私立幼稚園数及び定員の増加により、民間での受け入れが十分可能となったこと。

②幼児教育の研究活動

横須賀市私立幼稚園協会との連携を深め研究委託を行い、研究成果の発信をしていくことで、横須賀市全体の幼児教育の充実を図ることができること。

③支援を要する園児の受け入れ

子ども・子育て支援新制度により、入園希望者の受け入れについての応諾義務が規定されていることや、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）の施行により、私立幼稚園においても支援を要する園児の受け入れを行っていただいていること。

(2) 最近の入園希望者が減少傾向にあること

大楠小学校区の未就学児が平成 21 年度以降増加もしくは横ばい傾向であるものの、大楠幼稚園の入園希望者は、定員割れの状態が続いており、令和 4 年度の入園児数は 9 名であったこと。

(3) 幼児教育の無償化により、私立幼稚園の保護者負担額が減少したこと

令和元年 10 月から幼稚園の利用料が無償化され、私立幼稚園の保護者負担額が減少したことにより、翌年度以降の入園希望者がさらに減少したことが考えられること。

4 閉園時期の案

(案1)

募集停止時期 (最終募集期間)	学年・年齢 (R4年度時点)	R4	R5	R6	R7	R8	備考
R5年度入園児 募集停止 (R4年11月) R5年度末閉園	年長5歳	A	B	閉園			
	年中4歳	B	—				
	3歳	C					大楠2年保育× 民間3年保育×(既に申込期間終了) 民間2年保育○(R4.11に申込)

(案2)

募集停止時期 (最終募集期間)	学年・年齢 (R4年度時点)	R4	R5	R6	R7	R8	備考
R6年度入園児 募集停止 (R5年11月) R6年度末閉園	年長5歳	A	B	C	閉園		
	年中4歳	B	C	—			
	3歳	C	—				大楠2年保育○(但し、年長時単学年) 民間3年保育×(既に申込期間終了) 民間2年保育○(R4.11に申込)
	2歳	D					大楠2年保育× 民間3年保育○(R4.11に申込) 民間2年保育○(R5.11に申込)

5 大楠幼稚園関係者連絡会における主なご意見

(第1回)

- 下の兄弟姉妹が卒園するまでの5年間は存続してほしい。
- 大楠幼稚園は支援のレベルが高い。私立幼稚園が支援を要する園児の受け入れを行っていることが閉園の理由になることは理解できない。
- 園児が少なくなっている中で、子どもが本当に幸せな幼児教育を受けられるのか考えなければならない。
- 埋立地は問題なく使用されている。大楠幼稚園と荻野小学校の設置によって、協定書の内容の多くは達成したという理解をしている。保護者と市でよく話し合いをすべきだと思う。
- 閉園後は、この地域に子どもたちが安全に遊べる場が少なく、学童クラブ等がほしいという声がある。高齢者や大人も活用できる地域交流の場も提案したい。

(第2回)

- 5年間は存続してほしいという意見が出ているため、5年後に閉園とし、その5年間で募集をかける方法はあるか。
- 保護者と町内会の心情としては存続してほしいが、園児数が減少する現状では、維持できない。納税者の立場からすると、閉園するタイミングだと思う。
大楠幼稚園の建物を有効利用し、学童クラブとして児童が利用したほうがよいのではないかと思う。
- 留守家庭が対象の学童クラブのほかにも、全児童が対象の放課後子ども教室や子どもと高齢者が交流できる場として活用してほしい。
- すみれ組（4歳児）の人数が少ないことが心配。閉園するにしても、大楠幼稚園で良かったなと思ってもらいたい。
- 関係者連絡会の中で出されている要望を他の説明会の場でも伝えてほしい。